

ラジオに初めて出ました！

2017年3月2日、ラジオデビューです。

NHKの夕方5時からの「関西ラジオワイド」という生番組でした。

ものづくりの町大正区を紹介するというもので、大正区からの中継とスタジオを結ぶ形です。約10分間取り上げてくれました。

鶴町の鈴木合金さんがロケ地で、そこに木幡計器さんのゲームの機材と山忠の積み木などを持ち込みました



ラジオなので音が勝負です。大正区で行われているイベントを紹介するのに、積み木の触れ合う音やミニ家づくりでのくぎ打ちのトントンとした音、鈴木さんの抵抗器の性能実験の時に出る雷のような音なので演出しました。

インタビューは区役所の近藤さん、池田鉄工所の林さん、そして、山忠木材から私山本が受けました。10秒ほどの受け答えでしたが、なんとか無事終わりました。



5時からの放送でしたが、1時間前に現地へ集合して打合せを行いました。さすがNHKで用意周到です。全体の流れを理解するのに台本を渡されましたが、インタビューのセリフはその通りではなくて、自然な形になるように自分の言葉でしゃべってくださいとのこと。何をしゃべろうかと考えましたが、ラジオ慣れしている近藤さんから「その時頭に浮かんだことの方がしゃべりやすい。」とアドバイスをもらいました。

でも、こっちは初体験。やっぱりあれこれ考えます。リハーサルの時、「うまくできましたね。」とアナウンサーの大石さんからほめてもらいましたが、10秒ほどだったので、本番ではもう少し長くてもいいですよ、と言われました。

いざ本番。もう少し言葉を足そうとしましたが、結局リハーサル通りに無難な方に気持

ちが偏ってしまいました。



最近ではNHKが開発した専用アプリでスマホを使って収録するらしく、現地に訪れたのは大石さんだけ。ラジオの中継って、こんな感じなんやと驚きました。

堅いイメージのNHKなので、セリフも含め完全台本通りにと考えていましたが、自由度が高いのにもびっくりしました。おかげで助かりました。

メディア戦略に長けている大正区役所さんのお陰でラジオにも出させてもらえました。NHKなので、社名を紹介してもらえないのは残念でしたが。

インタビューでは、普段思っていることが言葉になるものと、改めて感じました。

アナウンサーの大石さんはテレビで見るよりやせていて、男前でした。

